

令和4年6月2日

島田市議会議長 大石 節雄 様

議会だより編集等に関する
特別委員会
委員長 桜井 洋子

議会だより編集等に関する調査研究について（最終報告）

本委員会は、調査した事件の結果について、委員会条例第36条の規定により別添のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件 議会だよりの編集及び広報広聴に関する調査・研究
- 2 調査結果 別添報告書のとおり

「議会だより編集等に関する特別委員会」最終報告書

令和3年6月定例会において、委員6人による「議会だより編集等に関する特別委員会」を設置し、積極的に議会活動について情報発信するとともに、議会だよりのさらなる充実について継続して調査・研究に取り組みつつ、議会だよりの編集・発行を行った。

1 特別委員会の開催について

- 令和3年 6月17日（正・副委員長互選、議会だより79号（臨時号）の編集①）
- 令和3年 6月28日（議会だより79号編集②、80号（6月定例会号）編集①）
- 令和3年 7月12日（議会だより80号編集②）
- 令和3年 7月26日（議会だより80号編集③、議会報告会について）
- 令和3年 8月 3日（議会だより80号編集④、議会報告会について）
- 令和3年 9月 9日（議会だより81号（9月定例会号）編集①、議会報告会について）
- 令和3年 10月 6日（議会だより81号編集②）
- 令和3年 10月 18日（議会だより81号編集③）
- 令和3年 12月 27日（議会だより82号（11月定例会号）編集①）
- 令和4年 1月 18日（議会だより82号編集②）
- 令和4年 2月 15日（議会だより83号（2月定例会号）編集①）
- 令和4年 3月 18日（議会報告会の開催について）
- 令和4年 3月 29日（議会だより83号編集②）
- 令和4年 4月 15日（議会だより83号編集③）

2 「読みやすく、わかりやすく、親しみやすい」議会だよりの編集手法について

本特別委員会は、紙面リニューアルした議会だより第52号（11月定例会号）から継続して、市民に読みやすく、わかりやすい議会だよりの紙面づくりのため、以下の(1)から(4)までの事項を検討しながら、編集作業と発行を行った。

- (1) 余白を活用した「見やすく読みやすい」レイアウトとするため、最適な文字数とし、写真の大きさ等を工夫すること。
- (2) 「親しみやすい」議会だよりとするために、表紙とそれに続く見開きページを連動させ「手に取って見たくなる」特集記事を掲載すること。
- (3) 表紙と特集の題材を工夫し、多くの市民が「手に取って見たくなる」ように、さまざまなターゲットを想定すること。
- (4) ページごとにデザインに凝るのではなく、最初から最後まで統一感があるトータル・デザインを施し、「見やすく読みやすい」ものとする。 「読みやすくわかりやすい」字体を全体的に統一して使用すること。

令和3年度の発行

号数	内容	発行日	発行部数
79	臨時号	令和3年7月15日	34,600
80	6月定例会号	令和3年8月12日	34,600
81	9月定例会号	令和3年11月15日	34,600
82	11月定例会号	令和4年2月15日	34,600
83	2月定例会号	令和4年5月13日	34,600

3 議会報告会の開催について

「島田市議会基本条例」に則り、議会の活動の動向を市民に伝え、市民と議員とが自由に意見及び情報交換するために議会報告会を3回開催し、意見交換を行った。この1年、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において、本来なら各地域の会場で、対面方式で実施すべきところ、1回目はオンラインのZoom形式で行い、18の自治会の参加を得た。また、2回目、3回目は、会場の感染症予防対策をとりながら、対面形式で開催でき、テーマに添った建設的な意見及び情報を聞くことができた。これらの意見及び情報等は、その後の事後検討会において議会活動に反映させていく対応をとっている。

なお、議会報告会、意見交換会をオンライン開催する場合は、機器操作、報告資料の提示の仕方等円滑に進めるための課題も出ているため、今後の調査、研究とする。

参加者数

区分	開催日	対象者	会場	参加人数	人数合計
第1回	11月13日	18自治会の代表者	オンライン (Zoom)	18	18
第2回	1月19日	島田商工会議所	プラザおおるり	17	17
第3回	5月21日 5月28日	市民 (公募)	島田市役所	19	53
			六合公民館	15	
			金谷公民館	19	

4 高校生との意見交換会について

選挙年齢の18歳への引き下げを踏まえ、次世代を担う高校生が議会や島田市の現状をどのように考え、今後どうなってほしいかなどの意見を市政に反映できる場を設けていきたいと、高校生との意見交換会の実施について、検討を重ねてきた。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況もあり、具体的な実施について、各高校へのはたらきかけはできなかった。

今後の課題として、各高校に対して、意見交換会の実施方法や内容について、高校側と改めて話し合う必要があり、次年度に引き継ぐ。

5 まとめ

「議会だより編集等に関する特別委員会」は、以上の報告のとおり、議会だよりの編集・発行、議会報告会・意見交換会の開催、高校生との意見交換会実施に向けての活動を行ってきた。しかし、議会だよりの編集・発行に重点が置かれ、懸案であった高校生との意見交換会の実施に向けての取り組みは、遅れている。広報広聴活動として、議会報告会、高校生との意見交換会を位置づけ、体制を充実させるためにも、広報広聴特別委員会を設置して、調査研究を進めるよう、本特別委員会として提言する。

以上